

宇於崎勝也先生 プロフィール

分野	建築、都市計画
現職名	日本大学理工学部建築学科 教授
アドバイス できる分野	まちづくり 都市計画
経歴等	<p>博士（工学）</p> <p>日本大学理工学部 助手、専任講師、助教授、准教授を経て現職（委員）</p> <p>川口市都市計画審議会委員</p> <p>川口市景観形成委員会委員</p> <p>市川市都市計画審議会委員（その他委員多数）</p> <p>（著書）</p> <p>「生活景 身近な景観価値の発見とまちづくり」（共著、日本建築学会編）</p> <p>「景観再考 景観からの豊かな人間環境づくり宣言」（共著、日本建築学会編）</p> <p>「景観計画の実践事例から見た効果的な運用のポイント」（共著、日本建築学会編）</p> <p>（論文）</p> <p>「都市の夜間景観整備に関する研究 東京の繁華街の分析をとおして」（日本大学学位論文）</p> <p>「建築協定の持続的運用の方策に関する研究」（共著、日本不動産学会学術講演会）（その他論文多数）</p>
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省国土交通政策研究所「都市整備における行政と住民の合意形成の円滑化に関する研究会」研究協力 小金井市住宅マスタープラン策定委員会主査
ホームページ	https://urbandesignplanning.jp/
先生から一言	<p>景観、都市史、居住環境、建築訴訟と取り組んでいる研究領域は幅広いです。景観研究は最も長く取り組んでいます。景観は単に見ばえの問題ではなく、そこで暮らしたり、関わったりする人々の生活の中から生まれてくるために、一般解的な正解やBESTを示すことが困難です。「その場らしさ」が最も適した回答でしょうか。単なるアドバイスだけでなく、市民の皆さんと一緒に考えていけるような場、取り組みにも参加していきたいです。</p>